

紫 糸 甘

〈題字〉故 花田 衛先生

2024年9月1日 第34号



発行
熊本学園大学付属中学・
高等学校 同窓会 紫紺会
編集
紫紺会広報・情報委員会

〈紫紺会事務局〉
〒862-0971 熊本市中央区大江2-5-1
熊本学園大学付属高等学校内
〈事務局室別館〉
〒862-0971 熊本市中央区大江2-1-71
スポーツクラブ&スパ
ルネサンス 熊本学園大通24 1F
TEL・FAX 096-371-9333
(火・木 13:00~16:00)

<http://shikonkai.com/>
shikonkai@outlook.com
紫紺会公式 Facebook、Instagram も
ご覧下さい！



Contents

同窓会長・学校長あいさつ	2
中高活動報告・2024年度入試合格者数	3
令和6年度大同窓会	4
令和6年度総会・年祝い会	5
令和6年度役員・代表幹事一覧	6
委員会・支部年間活動報告	7~8
紫紺会入会式・各期同窓会ほか	8~9
現役生部活動報告	10~11
未来応援基金活用報告及び募金者一覧	11
紫紺ズームアップ ～各界で活躍する同窓生たち～	12~13
飾馬奉納 秋季例大祭	14
大同窓会告知・紫紺会からのお願い	15
令和6年度収支予算・ 事業計画・会費納入のお願い	16

剛 気 英 知 気 品 知



熊本の発展と共に飛躍する同窓会の、 活気ある「絆」づくりを目指して

熊本学園大学付属中学・高等学校同窓会 紫紺会

会長 吉村 浩之（19期）



同窓生の皆様におかれましては、日ごろから紫紺会活動並びに、付属中学、高校に対するご支援ご理解を賜り、心より御礼申し上げます。そして、これから同窓生の皆様の更なるご支援・ご協力を得て、微力ではありますが、母校と同窓会の発展に力を尽くしていきたいと思っております。至らない点も一興とご容赦いただき、どうかこれまで以上のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症の流行と共に、世界は様々な側面に変化しました。労働環境、生活環境、人生設計、対人コミュニケーションの在り方など、多くの同窓生がこの変化の中で、紆余曲折の時間を過ごしたと存じます。

そして現在、我々は様々な価値観、在り方で新しい時代へと日々進み続けています。

こと熊本に目を向けると、政治経済において、TSMC進出による県内経済の活性化、木村新知事就任による新しい熊本づくり、国からの阿蘇熊本空港と八代港の重要防犯拠点指定など、日本のみならず世界が注目する地域へと変貌を遂げつつあります。その一方で、時代の大きな変化の流れに、同窓生の皆様も様々な悩みや不安を抱えることも増えているのではないのでしょうか。皆さん、そんな時代だからこそ、我々同窓生がいます。このような時代の変化の中、我々には同窓生同士で笑い合いながら肩を組んで手を取り合い、時には励まし合いながら飛躍できる環境があると確信しております。そして、その環境にぜひとも卒業して間もない同窓生諸君にも積極的に参加してもらえよう、様々な施策に取り組んでまいります。同窓生は日本中、そして世界にも羽ばたいております。若い力と先輩諸氏との経験の交流が、自然とかけがえのない「絆」になり、同窓会の発展、ひいては熊本の飛躍へと繋がることでしょう。皆さん、英知・気品・剛気を心に掲げ、皆で進んでいきましょう。

紫紺会、生徒たちとともに本校を盛り上げていきたい

熊本学園大学付属中学・高等学校 校長 高橋 裕文



紫紺会の皆様、熊本学園大学付属高等学校・中学校校長の高橋です。令和5年度から赴任して2年目を迎えます。どうぞよろしくお願ひします。

令和6年4月10日に、熊本学園大学付属高等学校第66期生361名、熊本学園大学付属中学校第14期生72名を新たに迎えました。紫紺会木村光男会長をお迎えして、盛大に挙行できました。詰め襟の制服、紺のブレザーは変わらず、中学生も高校生も神妙な面持ちで入場し、吹奏楽部の演奏が花を添えました。体育館が狭く感じるほどの保護者が来場され、やっとコロナ前に戻ってきたと強く感じました。

令和5年10月に水球男子がアジア大会53年ぶりV、パリ五輪への切符を手に入れました。この男子代表監督が前回の会報「紫紺」で取り上げて頂いた本校40期生塩田義法氏です。本校出身でパリオリンピックに出場するのは、彼一人だと思います。令和5年12月、農林水産大臣に衆議院熊本3区選出で、森山の坂本哲志・元地方創生担当大臣が就任さ

れました。生徒の誓に「われわれは民主的文化的な国家社会の卓抜な指導者となるため互に助け、相励まし、端正闊達な校風を振興し、学園建学の精神に徹することを誓う」とあり、この後に皆様にお馴染みの「英知・気品・剛気」が続きます。先輩たちの背中を見て、後輩たちも頑張ってくれたいと思います。

少子化が深刻な問題として取り上げられています。熊本県も例にもれず、熊本市外の公立高校はほぼ定員割れを起こしています。本校は、紫紺会の皆様のご活躍のおかげで、なんとか定員、レベルを保つことができています。本当にありがとうございます。

昨年度から校長の任を受けて、紫紺会の年祝いの会、紫紺経済同友会、飾り馬の出発式、新春大同窓会、東京紫紺会とさまざまな会合に参加させていただき、それぞれの紫紺会の会員の皆さんの母校への熱い思いをお伺いしました。われわれ教職員もその思いを胸に、生徒たちと師弟同行で本校を盛り上げていきたいと思ひます。

本校の強みは、親から子へ、子から孫へと本校を志してもらえらることです。心から感謝申し上げます。少しでも、生徒たちが満足いく学校生活を送れるように、また教職員も過ごしやすい職場になるように、頑張っていきたいと思ひます。

吉村浩之新会長のもと、本校に対して、どうか今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

中高活動報告

昨年の9月30日、10月1日に実施された本校の文化祭、紫紺祭においては諸般の事情により、キッチンカーとのコラボという変更点はあったものの、数年ぶりに食品販売を行い、外部からの多くのお客様をお迎えすることができました。生徒の皆さんも「コロナ禍以前の紫紺祭の姿」がどんなものであったのかを十分に体感することができたことと思います。今年も同時期に実施しますが、昨年同様、盛況を博するものになると信じています。

さて、昨年のご報告させていただきますが、本校は引き続き、「深学科プログラム」(通称「深プロ」という探究活動に力を入れており、全生徒が、個人、あるいはグループで自分たちが設定したテーマの解決法を求めて、企業や大学などに協力を仰ぎながら活動を行っています。本誌でご紹介したグループ以外にも、侵略的外来植物であるボタンウキクサを回収しバイオプラスチック化して、資源としての活用にも成功したグループ、米のとき汁に肌優しい成分が含まれていることに着目し、コスメ製造会社のアドバイスをいただきながら、とき汁を再利用した石鹸の開発を行ったグループなど、活動の幅がどんどん広がっています。また、今年も学園大で開かれたABMF:ASEAN+3債券市場フォーラムという国際会議のランチャイムプレゼンテーションの際に、深プロの3つのグループが研究活動の成果を英語で発表しました。深プロに関しては地元メディアで取り上げてもらう機会も増えてきましたので、テレビな

どで、「学園大付属中学校・高校の深プロのグループが…」というフレーズを耳にされたらぜひご覧いただければ幸いです。

次に進学実績に関してのご報告です。今年度卒業生も例年同様、希望進路の達成に向けて粘り強く受験勉強に取り組んでくれた結果、国公立大学に関しては128名が現役合格を果たしました。(過年度卒業生も加えると146名。)いずれの数字も県内私立高校では最多となっています。私立大学に関しても関東圏の最難関大学を含めて590名の合格者が出ており、たゆまぬ努力が見事に結果につながりました。

部活動においても日々の修煉が実を結び、優秀な結果を出すことができました。意外に思われるかもしれませんが、県高校総体の結果を学校対抗という基準で見ると、本校の成績は県下の高校の中で第2位です。ローイング競技(ボート)においては全種目制覇、体操部も男女団体、個人総合すべて優勝、テニス部女子団体は8連覇達成と「盤石」とも言える戦いぶりでした。文化系クラブにおいても、昨年に引き続き、囲碁部、放送部、百人一首同好会が全国大会への切符を手に入れましたが、加えて今年も70数名という大所帯の吹奏楽部が初の全国大会出場を果たしました。どの部に関しても、本番の舞台でどのようなパフォーマンスを見せてくれるのか、大変楽しみです。以上、付属中学校、高等学校の生徒達は学校生活の様々な場面で日々研鑽を積んでいることをご報告します。先輩方におかれましては、今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

2024年度入試 合格者数

国立大学	現役	過卒	計	公立大学	現役	過卒	計	私立大学	現役	過卒	計
熊本大学	29	2	31	熊本県立大学	32		32	福岡大学	74	6	80
鹿児島大学	15	2	17	北九州市立大学	4		4	崇城大学	42	12	54
九州大学	5	2	7	長崎県立大学	2		2	熊本保健科学大学	42		42
長崎大学	4	3	7	東京都立大学	1		1	西南学院大学	28	3	31
福岡教育大学	6		6	横浜市立大学	1		1	近畿大学	18	5	23
宮崎大学	6		6	大阪公立大学	1		1	久留米大学	15	1	16
佐賀大学	5	1	6	島根県立大学	1		1	九州ルーテル学院大学	12		12
大分大学	5		5	福岡県立大学	1		1	九州看護福祉大学	9		9
群馬大学	2		2	山陽小野田市立				日本大学	8		8
横浜国立大学	1	1	2	山口東京理科大		1	1	東洋大学	7		7
九州工業大学	1	1	2	公立大 小計	43	1	44	武蔵野大学	6		6
山口大学		2	2	私立大学	現役	過卒	計	駒澤大学	6		6
筑波大学	1		1	慶應義塾大学	2	1	3	明治学院大学	5	1	6
山梨大学	1		1	早稲田大学	2	1	3	東海大学	5	1	6
大阪大学	1		1	東京理科大学	1	2	3	福岡工業大学	5		5
神戸大学	1		1	学習院大学	3		3	大東文化大学	5		5
島根大学	1		1	明治大学	4	2	6	純真学園大学	5		5
琉球大学	1		1	青山学院大学	1		1	久留米工業大学	1	4	5
電気通信大学		1	1	立教大学	6	1	7	帝京大学	4		4
富山大学		1	1	中央大学	6	2	8	神奈川大学	3		3
広島大学		1	1	法政大学	9		9	同志社女子大学	3		3
国立大 小計	85	17	102	関西大学	3		3	京都芸術大学	3		3
				関西学院大学	4		4	関西外国語大学	3		3
				同志社大学	4	1	5	龍谷大学	3		3
				立命館大学	6	5	11	福岡国際医療福祉大学	3		3
				熊本学園大学	105		105	九州産業大学	3		3
								中村学園大学	3		3
								私立大 総計	535	55	590

*上記大学は、国公立大学、早慶上理、GMARCH、関関同立及び合格者多数大学の順で掲載しております。その他多くの大学・専修学校等に合格されています。詳細をご覧になりたい方は、ぜひ本校ホームページよりご覧ください。

新春大同窓会に県内外から270人



270人が出席し会場満杯となった大同窓会

紫紺会の新春大同窓会が1月27日、熊本市中央区千葉城町のKKRホテル熊本で開かれました。

毎年恒例の本会行事で当日は県内外からの同窓生や高校の先生方をはじめ270人に出席いただきました。冒頭では今年元旦に発生した能登半島地震の犠牲者に黙とうを捧げた後、木村光男会長(当時)が「本校卒業生は2万人を超え、さまざまな業界で活躍している。本日は久しぶりに集う同窓生同士で旧交を温めながら大いに交流を深めてほしい」とあいさつ。本校8期生の坂本哲志農林水産大臣も会場に駆けつけていただきました。当日は目黒純一(学)熊本学園理事長による乾杯の音頭で開宴。その後は同窓生同士あるいは先生方との久しぶりの再会で、にぎやかに歓談する出席者の姿が会場各所で見られました。今年の藤崎八幡宮例大祭に向けた飾馬奉納紫紺会のメンバーによるPRタイムも実施し、吉村浩之副会長(同)によるあいさつで締めくくりました。

広報・情報委員長

大島栄祐(40期)



木村光男会長(当時)



高橋裕文学校長



目黒純一熊本学園理事長



飾馬奉納紫紺会のメンバーから例大祭開催に向け、寄付のお願いをさせていただきました!



本校の先生方にも多数ご出席をいただきました

令和6年度紫紺会総会

皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

私事で恐縮ですが、令和6年6月1日に開催されました総会をもちまして、3年間にわたる事務局長としての任期を終え、退任いたしました。この場を借りて、総会の報告と共に、心からの感謝の意を表したく存じます。在任中は、木村光男会長とともに役員の皆様や代表幹事の方々と同窓生の皆様の温かい支援とご協力を賜り、多くの業務を遂行することができました。本当にありがとうございました。ふりかえりますと、初年度はコロナ禍の真ただ中でしたので大きな集まりは出来ず、感染者数や流行のタイミングに翻弄される1年でした。特に大同窓会は何度も会議を繰り返して、開催すべきかどうかを議論しました。高齢の諸先輩方もいらっしやる中で様々なご意見を賜り、私も大変勉強させて頂きました。

2年目以降は5類になったことで全ての事業が円滑に開催できるようになり、本来の紫紺会活動が行えるようになりました。様々と模索しながら紫紺会に携わり、私自身も勉強し成長の機会を与えて頂いたことに感謝しています。最後の総会では、約50名の参加を頂き、全ての事項がスムーズに進行し、円滑な移行を実現できたことを大変嬉しく思います。これもひとえに、皆様のご理解と協力の賜物と深く感謝しております。また、総会では新たな舵取りを担う新会長に19期卒の吉村浩氏が任命されました。新会長のもと、紫紺会がさらなる発展を遂げることを確信しております。吉村新会長の率いる新生紫紺会には、今後も支援し、同窓会に貢献していく所存です。

私の後任として、新たな挑戦をする原田事務局長に、私のときと同様に皆様からの変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後にありますが、3年間ご支援とご鞭撻を賜り本当にありがとうございました。

紫紺会 奥村 誠基(33期)



各種議案を審議した令和6年度総会



奥村 誠基
前事務局長



木村 光男
前紫紺会長



浦上 和裕
前代表幹事長

年祝い会

令和6年度の総会に続きホテル日航熊本で開かれた年祝いの会の報告をさせていただきます。

当日は幅広い年代の同窓生や学校関係者の方々をはじめ120人が出席し、盛大な会となりました。木村光男前会長のあいさつに続き、第16代会長に就任された吉村浩之さんが「母校支援と同窓生同士の交流促進を念頭に、先輩方が残されたものを継承しながらさまざまな事業をやっていきたい」と抱負を述べられました。続いて学校法人熊本学園の目黒 純一理事長による音頭で乾杯。その後は本会に出席された今年で傘寿(3期)、喜寿(6期)、古希(13期)、還暦(22期)を迎えらる同窓生の方々がステージで、これまでの人生を振り返りながら今の心境や今後の抱負、目標などを話されました。当日は40期以降の若手同窓生にも出席いただき、会場各所では世代を超えて交流を深め合う同窓生の姿が見られ、最後は出席者全員で記念撮影し、会は幕を閉じました。この度節目の年を迎えられた同窓生の皆さま、これからは健康に留意され、各界でますます活躍されることをお祈り致します。この度は誠にありがとうございました。これからも紫紺会活動に色々とお言葉をいただければ幸いです。

最後にこの場を借りて、本会にご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。来年も元氣な姿でお会いできることを心待ちにしております。

広報・情報委員会委員 酒井 一字(43期)



同窓生ら120人が出席した年祝いの会。最後に出席者で記念撮影を行った



高橋 裕文学校長



目黒 純一理事長



吉村 浩之会長



喜寿の6期同窓生



傘寿の3期同窓生



還暦の22期同窓生



古希の13期同窓生

令和6年度 紫紺会役員

委員会等	役職	氏名	期
会長		吉村 浩之	19期
副会長		齊藤 誠治	20期
		中山 貴夫	21期
		西上 佳孝	25期
		内藤 千穂	29期
事務局	事務局長	原田 佳英	35期
	事務局次長	林 信介	35期
	事務局参与	奥村 誠基	33期
監事	監事	田中 博康	19期
	〃	喜讀 宣友	22期
	監事参与	志垣 伸太郎	30期
代表幹事会	代表幹事長	三浦 勲	23期
	副代表幹事長	伊津野 浩	19期
	〃	田上 明裕	29期
	〃	檜 橋 一玄	34期
	〃	千々岩 慎吾	35期
財務委員会	委員	眞弓 知也	48期
	委員長	西村 和真	40期
	副委員長	下田 陽子	36期
	委員	武末 夏子	38期
広報・情報委員会	参与	三浦 勲	23期
	委員長	大島 栄祐	40期
	副委員長	宮崎 常	39期
	委員	酒井 一宇	43期
	〃	山中 翔太	45期
	〃	山本 文子	47期
	参与	宮村 勇一郎	23期
事業活動(青年部)委員会	委員長	榎 崇文	40期
	副委員長	嶋村 拓二郎	41期
	委員	道山 明香	42期
	〃	富田 修成	46期
	〃	井上 慶一	46期
	〃	塚本 龍一	47期
	参与	浅野 芳幸	33期

委員会等	役職	氏名	期
経済同友会	会長	西上 佳孝	25期
	委員長	中村 由紀子	34期
	参与	寺本 光秀	22期
飾馬奉納実行委員会	実行委員長	渡邊 憲輔	39期
	副実行委員長	嶋村 拓二郎	41期
	担当期隊長	塚本 龍一	47期
会員活性化グループ	グループ長	藤本 博之	29期
	副グループ長	中村 由紀子	34期
	スタッフ	白石 恵子	22期
顧問	〃	佐藤 卓也	40期
校長		目黒 純一	
相談役		高橋 裕文	
歴代会長会		木村 光男	16期
		奥村 拓司	1期
		大堂 友一郎	1期
		貝島 博信	1期
		黒木 繁紀	2期
		原武 博之	5期
		竹本 朝生	6期
		武末 博司	7期
		木下 顕	11期
		榎 主税	14期
	長野 英子	15期	

紫紺会 代表幹事一覧

期	卒業年	名前									
1	S37	立川 恵之助	17	S53	山下 慶一郎	33	H6	池本 千寿	49	H22	高橋 直人
2	S38		18	S54	志水 和幸	34	H7	植田 真功	50	H23	上坂 萌子
3	S39	井手 和洋	19	S55	伊津野 浩	35	H8	千々岩 慎吾	51	H24	中野 翔梧
4	S40	坂元 邦彦	20	S56	崎坂 浩行	36	H9	佐藤 健次	52	H25	上坂 暖子
5	S41	中園 直樹	21	S57	淵上 光秋	37	H10	内田 雄也	53	H26	小野 晃嗣
6	S42	白野 国久	22	S58	寺本 光秀	38	H11	山口 敦司	54	H27	
7	S43	武末 博司	23	S59	川口 修	39	H12	永廣 一晃	55	H28	宮崎 真吾
8	S44	和田 信一	24	S60	白石 隆	40	H13	久富 信夫	56	H29	
9	S45	上野 和徳	25	S61	西上 佳孝	41	H14	渡邊 陽一	57	H30	今村 拓詩
10	S46	本田 順治	26	S62	鈴木 浩二	42	H15	豊田 隆志	58	H31	土井 淳一郎
11	S47	伊瀬知 裕	27	S63	相馬 啓	43	H16	矢田 琢磨	59	R2	出口 貫太
12	S48	臼杵 和孝	28	H1	水田 貴光	44	H17	井手 誉大	60	R3	小堀田 圭吾
13	S49	上妻 利夫	29	H2	田上 明裕	45	H18	松下 翔	61	R4	高野 蓮
14	S50	宮本 亘	30	H3		46	H19	井上 慶一	62	R5	濱田 奈々子
15	S51	松田 博女	31	H4	出先 教明	47	H20	塚本 龍一	63	R6	松本 尚大
16	S52	金子 圭介	32	H5	堤 泰之	48	H21	眞弓 知也			

委員会・支部年間活動報告

事務局

事務局長 原田佳英(35期)

本年度より事務局長を拝命いたしました原田でございます。これまで代表幹事や広報委員、例大祭において、担当学年の隊長などさせていただき、大変お世話になって参りました。恩返しできればとお引き受けいたしました。皆様と交流させていただく中で、紫紺会の歴史と、繋がれてきた先輩方の想いをこ教授いただき、改めて気を引き締めて2年間務めていきたいと思っております。

本年度は、昨年までの活動を継承しつつ、より交流できる場を作り、楽しく活動ができるよう環境を作っていくかと思っております。役員・代表幹事の皆さまを始め、ご協力とご理解をお願いすることになるとは存じますが、どうぞよろしく願っています。

代表幹事会

代表幹事長 三浦 勲(23期)

本年度の代表幹事長を拝命した23期生の三浦です。よろしく願っています。代表幹事会は二つの役割があると考えています。ひとつは会則に基づき事業計画、会則の変更、役員を選任など同窓会の意思決定の場であり、もうひとつは先輩、後輩同期生さらに学校の先生方と親睦を深め

たり、新たな出会いの場であるということ。会の運営が適切に行われ、かつ多くの同窓生が楽しくまた充実した同窓会を感じていただくための代表幹事会の役割を担えるよう頑張ります。同窓生の皆さんのご協力をお願いいたします。

財務委員会

委員長 西村和真(40期)

財務委員会は、委員長に西村和真(40期)、副委員長に下田陽子(36期)、委員に武末夏子(38期)、参与として三浦勲(23期)の体制でスタートいたします。業務として通帳・帳簿の管理、決算、予算作成などを役割分担の上、実施いたします。新任が多いこともあり、前任の諸先輩方にご協力を賜ることもあるかと存じますが、財務面から紫紺会および学園の発展のために寄与できるように取り組む所存です。今年度からの財務委員会各員および活動につきまして、よろしく願って申し上げます。

広報・情報委員会

委員長 大島栄祐(40期)

広報・情報委員会は現在6人で活動しており、同窓会事業の取材・撮影・記事制作をはじめ、毎年の会報誌発行や紫紺会ホームページ・Facebookの管理・運営などを

担当しています。会報誌は誌面を一層充実させ、卒業生の方々が本会の事業に参加いただくきっかけになればと思っております。2024年からはInstagramを復活し、本会の活動や同窓生の紹介などをタイムリーで紹介していきますので、ぜひフォローいただけると幸いです。「広報委員としての活動を通じて本会の先輩・後輩とのネットワークを広げていきたい」とお考えの方は、ご連絡をお待ちしております。

事業活動委員会

委員長 榎 崇文(40期)

これまで10年以上青年部に所属しておりましたが、青年部を卒業し、本年度から事業活動委員会の委員長を務めさせていただきますことになりました。事業活動委員会は、紫紺会会員全員が参加できる新春大同窓会や総会・年祝いの会などの開催・運営を行う委員会であり、これまで青年部で行ってきた活動(若手交流会、ゴルフコンペなど)よりも大規模の活動となります。ほかのメンバーと力を合わせて、会員の皆様を楽しめる、参加したくなるような会にしていきたいと思っております。何卒よろしく願っています。

青年部委員会

委員長 嶋村拓二郎(41期)

紫紺会青年部は、若手を中心とした委員会です。202

4年度はコロナ以前のように青年部の活動をより活発にさせ紫紺会を盛り上げていければと考えています。ゴルフコンペや若手交流会なども検討しています。事業活動委員との連携も図りながら進めていければと思っております。

新体制となり、新たな企画立案しながら親睦を深める会を開催したいと考えています。若手の集客に力を注ぎ、これからの紫紺会の発展につとめていきます。

飾馬奉納委員会

実行委員長 渡邊憲輔(39期)

飾馬奉納紫紺会の実行委員長は39期渡邊です。まずは藤崎八幡宮秋季例大祭の奉納において関係者の方々に多大なるご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。おかげさまで準備期間から本祭まで、怪我も事故もなく無事に奉納することができました。

今年も迎えた34歳の副担当期。そして35歳の担当期。卒業して16年後、17年後のこの歳に、また母校に戻る気持ちでこの祭りに参加してくれました。「もしかすると、祭りが無かつたら集まらなかつた、ありがたうございまして。」そう言ってくれたことが、学校団体だからその絆だと強く感じています。その一方で、我々も後輩たちと同じ時間を過ごす中で、頑張る姿に刺激や力をもらい、日々を頑張っている自分自身に気

づかされています。きつと、日常の社会生活にはない、忘れていた心意気や温かさを思い出すきっかけが祭りにはある。その意味、意義を、大切な絆として繋いでいきたい。やってよかつたという達成感を次の世代に必ず伝えていきたい。まさにこの思いこそが私の活力となっています。

この大切さや温かさをもっと多くの同窓生に伝えていくことで、紫紺会全体が温かい絆でさらに深まっていくことを願い、今後全力で務めて参ります。益々のご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

経済同友会

委員長 西上佳孝(25期)

令和6年度は、コロナ禍で縮小していた熊本の経済が回復する中、経済同友会の活動も正常化しました。

総会・年祝いは、7月20日に、松屋本館(25期・西上佳孝会員)で開催。年祝いは、傘寿(3期・古木勝行会員)、喜寿(6期・木村洋一郎会員)、還暦(22期・喜讀宣友会員、寺本光秀会員、三森りか会員)の会員のお祝いを行いました。また、当日は在校生の隠れた善行を讃える奨励賞についても授与式を行い、後藤優奏さん(3年)の「市民活動支援センターあいはら」でのボランティア活動」に奨励賞を授与しました。

昨年11月11日(土)、五校

経済同友会では今年度、当会が幹事校となりKKRホテル熊本にて「合同例会・講演会」を開催いたしました。講演では、水球男子日本代表(ポセイドンジャパン)の監督を務めている塩田義法さん(40期)にご講演をいただき、盛会にて無事に終了いたしました。

令和7年度も同会での交流を盛んに行い、同窓生のより良い絆を深めてもらうため活動してまいります。



県庁紫紺会

第3回 総会・懇親会

令和6年8月2日(金)、熊本市中央区水前寺の松屋本館で、県庁紫紺会総会及び懇親会を開催しました。会員23人を含め総勢33人の出席がありました。平成19年以降は休止状態だった県庁紫紺会は、現菊

陽町副町長の小牧裕明氏(20期)の熱意で「昨年再発足し、今回が新生後3回目の開催となりました。」

来賓として、農林水産大臣の坂本哲志様(8期)、学校長の高橋裕文様、紫紺会会長の吉村浩之様(19期)、県議会議員の中村亮彦様(25期)及び堤泰之様(32期)に、ご祝辞を賜りました。

総会では新役員の選出が行われ、内田清之氏(22期)が会長に、久保礼子氏(23期)、白石隆(24期)、池永淳一氏(25期)が副会長に選出され、幹事長、事務局次長、会計監事の各役員も満場一致で承認されました。

総会終了後は、前会長の浦田隆治様(21期)の乾杯のご発声により懇親会が始まり、来賓や役員、そして若い60期の会員まで、年齢や役職の垣根を越えて和気あいあいと歓談し、懇親を深めることができました。



●教育紫紺会 5年ぶりの交流会

令和6年8月23日(金)に熊本市中央区のオーデンで5年ぶりに教育紫紺会交流会を実施しました。当日は学校現職の22期・23期を中心とした会員10人に学園大学付属高校の高橋校長先生にもご参加いただき、とても充実した交流を行うことができました。また、新役員に石原会長(城北小)、坂口副会長(鮑田西小)、事務局に水田(北部中)が選出されました。

教育紫紺会は、学付出身の教育に関わる全ての皆様を対象とした会になります。コロナ禍前は、隔年で総会や学付の名物先生の特別授業企画等を行って参りました。今後、持続可能でより良い交流を目指して会を盛り上げていこうと思っておりますので、ご興味がある皆様は事務局までご連絡をよろしくお願ひします。

事務局 水田貴光(28期)



●東京紫紺会 東京紫紺会総会・懇親会

今年の目標に、「若い世代との交流」を掲げてスタートしましたが、思うような活動が出来ず、苦労しています。ただ明るい材料として、新宿に学付OB林さんのお店「アジアンパーム」を知り現在、幹事会ミーティング場所とし活用しています。

9月には、「アジアンパーム」で懇親会を予定していて「若い世代との交流」を図りたいと考えています。もっとOBのお店を開拓し、お店めぐりが出来るよう情報をお待ちしています。東京紫紺会会長 本田光二(18期)

東京紫紺会連絡先
幹事長 坂田剛(23期)
go-saka007@ezweb.ne.jp



第63期生紫紺会入会式

2024年3月2日、熊本市中央区大江2丁目の高校体育館で紫紺会入会式を開きました。

3月に卒業する63期生の409人が集まり開いたもので、新型コロナウイルスで卒業生を交えての入会式は5年ぶりでした。当日は三浦勲副会長(当時)や吉村浩之副会長(同)ら紫紺会の役員が同席。はじめに三浦副会長が同会の活動内容を説明した後、「卒業を迎えられることを心からお祝い申し上げます。入会後は皆さま方が有意義な活動ができるよう、本会としてもしっかりと支援して参ります。さらなる会の発展のために、ともに頑張ってください」と卒業生への祝福の言葉を述べ、各クラス幹



代表幹事の松本 尚大さん

事および学年の代表幹事である松本尚大さん、副代表



副代表幹事の西 姫夏さん

幹事である西姫夏さんに委嘱状を贈呈しました。63期生の皆さま、この度のご卒業、誠におめでとうございました。これから紫紺会の会員として、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、受験や卒業、入学、新年度と大変お忙しい中、こういった入会式にご尽力をいただきました学校ならびに先生方から感謝を申し上げます。報告いたします。

広報・情報委員長 大島 栄祐(40期)

5年ぶりの再会に感謝！ 40期同窓会

熊本市中央区の「ファンキーぶれいやあず」(34期・本田先輩のお店)で8月17日、40期の同窓会を開きました。約5年ぶりに開いた本会には、県内外から31人が出席。私たちが在校生時代の担任だった現校長の高橋裕文先生、現副校長の市川裕樹先生にもご出席いただきました。久しぶりの再会で夜遅くまで話しは尽きませんでしたが、各業界で活躍している友達と情報交換でき、この夏の思い出になりました。参加してくれた全員に感謝です。また当日はバリ



子の日本代表監督である塩田義法くんがオリンピックの報告や今後の目標などを語ってくれました。

思えば節目となる「30歳の同窓会」で150人が集まっ

た2012年から早12年。改めて同級生のみなざるパワーはすごい！と実感しました。これからも世界に一つしかない40期生だけのネットワークを生かしながら互いに一層交流を深め、公私ともにより楽しくお付き合いしていきましょう。この日のために企画準備を進めてくれた幹事の江本龍洋くん、榎崇文くん、佐藤義恭くん、本当にお疲れ様でした。次回は何年後かな!?
広報・情報委員会
大島 栄祐(40期)



61期生成人同窓会

令和6年1月3日、熊本ホテルキャッスルで61期生による成人同窓会が開催されました。本会木村会長(当時)の祝辞や来賓、幹事の方々にあいさつをいただき乾杯。その後の懇親会ではクラスの枠を超え、部活のメンバーや気の合う仲間等々、会場あちらこちらで入れ替わりながら歓談の和が広がりました。昨年はコロナ禍での開催で、恩師の先生方はビデオレターでの参加でしたが、今回は大勢の先生方にご出席をいただき、卒業生との再会を喜ばれて、在



学中の思い出や卒業後の進路などの話に花を咲かせ、懐かしんでいらつしゃいました。当日出席された卒業生は、在学中とは見違えるほど、凛々しいスーツ姿やドレスアップされた姿で、遅しくもあり艶やかな二十歳の若者たちのエネルギー溢れる集いでした。昨年も参加させていただきましたが、若い世代の力強さに感銘を受け、彼らが今後の母校と紫紺会を益々盛り上げてくれると確信いたしました。

紫紺会からは木村会長、吉村副会長(同)、浦上の3人で出席させていただきました。会則に基づいて、成人同窓会支援事業5万円を本会より贈呈致しました。

前代表幹事長
浦上 和裕(16期)

くたくさんの参加ありがとうございます！

61期生同窓会の幹事を務めさせていただきました。高野蓮です。61期生の皆様、この度は成人同窓会に参加していただき、本当にありがとうございました。感染症の危険もまだ消えてはいない中であつた為、開催自体も危ぶまれていましたが、無事開催することが出来て本当にほっとしました。集合写真で一人一人の顔が見えづらいほど、沢山の方に参加していただき、大変嬉しく思います。これから先、学付での思い出が皆さんの心の支えになってくれれば嬉しいです。また会いましょう。

61期代表幹事 高野 蓮



吹奏楽部 全国総合文化祭へ出場

8月4日に岐阜県で行われた全国総合文化祭へ出場してきました。県予選が行われたのは昨年12月、新体制になって初めてのコンクールでした。言葉で表せないほど楽しかった演奏と表彰式で客席から聞こえてきた部員の喜ぶ姿は忘れられないものとなりました。そして8月3日、1年生を含めた計74名で岐阜県へ出発しました。熊本代表という意識と自信を持って臨み、全国から集まった各校の素晴らしい演奏と行動を直接感じ、多くの学びと成長を身につけて帰ってくる事が出来ました。また、今回は3学年揃っての最後の演奏で、今まで以上に想いのこもった楽しい演奏が出来たと感じます。私たち3年生にとっても忘れることの無い時間を過ごすことが出来ました。



部長 木下 心寧



現役生部活動報告

深学化プログラム「Vegesite」

近年、世界的にベジタリアン・ヴィーガン(以下V)が増えていきます。インパウンドやTSMCの進出により、訪熊Vも増えていますが、熊本ではV対応が確立されていません。私たちはこれを問題提起し、Vが安心して熊本で食事を楽しめるようになることを狙いとして探究活動を行いました。



NPO法人ベジプロジェクトジャパン様のご協力のもと、熊本市観光政策課と共同でデザインを練り、独自のVマーク(ステッカー)として、ベジタリアン、ヴィーガンマークをそれぞれ作成しました。そして、城彩苑、熊本屋台村、熊本市内の複数のホテルにマーク導入を提案し、実際に一部店舗でV対応の商品にVマークを表示させていただきました。様々な多様性が認められる中、食もその一つとして、言語の壁を越え、Vがより過ごしやすい世の中になることを願っています。



深学化プログラム「Next Nexus」

Next Nexusは活動4年目を迎えるフードロス削減に向けて活動をするグループです。廃棄される食材を加工して商品化したものを販売し、その際購入者に対して食品ロスの啓発を行っています。また、その売り上げを熊本県や熊本市に募金をすることで地域に貢献をしています。



今年は「子どもとフードロス」をテーマにし、大人だけでなく子どもたちも食べやすいお菓子の開発を株式会社木村様と行いました。3月には幼稚園で食品ロスについての出前授業やお菓子の販売、4月には熊本で開催された「東京ガールズコレクション」のブースで販売させていただき、子どものみならず幅広い世代の方々に食品ロスについて知っていただけたと思います。この活動を通して、1つの商品を作る際にも沢山の人が関わ



ているということや生産者様の思いを実感しました。私達の活動が多くの人に食品を大切にすることを意識を持ってもらうきっかけになってほしいと願っています。

ボート部 女子

私たちは「日本一」を目指し、日々、江津湖で頑張っています。昨年度はインターハイ4位、国体5位、全国選抜3種目入賞(4、5、6位)、今年度は、朝日レガッタ3連覇など全国の舞台で活躍することができました。今後も「超一流をめざせ」のスローガンのもと、日頃支えてくださる多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、チーム「熊学」一丸となって精進していきたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。



ボート部 男子

「日本一」という目標を掲げ、男女共に江津湖で頑張っています。今年は県総体男女6種目制覇、団体種目である舵手付きクワドルプルにおいては、男女ともに九州総体3連覇を果たすことができました。



チームの志である「超一流をめざせ」の言葉通り、夏のインターハイでは全国の頂点に輝けるよう頑張りたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。

女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は、2年生8人・1年生7人・マネージャー3人の総勢18人で、先生・外部コーチの指導のもと活動しています。普段は学年の垣根を越え仲が良く、いざ練習となると経験・未経験問わずお互いにアドバイスし合い切磋琢磨できる最高のメンバーです。技術面だけでなく人間性も高め合えるチームとなり、目標「県ベスト8」に向かって悔いの残らないよう、一生懸命頑張っています。



水泳部

私たち水泳部は、「文武両道」、「楽しく取り組む」をモットーに活動しています。初心者から経験者までさまざまな部員が在籍しており、お互いに尊重しあひながらアットホームな雰囲気の中で練習に励んでいます。このような水泳部を築き上げてこられた歴代の先輩方、いつも支えて下さる先生方や保護者に感謝しながら精一杯頑張っています!今年度も昨年度に続き、高校総体九州大会出場を果たすことができました。今後とも応援をよろしくお願ひ致します。



弓道部

弓道は部員の大半が初心者ですが、本校OBのコーチと上級生の手ほどきにより、技と作法を磨きながら、文武両道を目指しています。昨年度は「男女でインターハイ!」を叶えるために、日頃の練習や強豪校との練習試合にも力を入れ、九州新人県予選・西日本大会は男子団体優勝、全国選抜県予選・高校総体は女子団体優勝という戦績を上げることができました。これも紫紺会をはじめ、多くの皆様のご支援のおかげです。今後とも応援よろしくお願ひします。



少林寺拳法

少林寺拳法は部活ではありませんが個人で活動をし、大会に出場するなどしています。今年の熊本県高校総体では、3位で九州大会への出場権を獲得しましたが予選敗退でインターハイへの出場は叶いませんでした。少林寺拳法はあまり知られていない競技ですが、昔習っていた人や習ってみたいなどという人は今からでも遅くありません!ぜひ少しでも興味がある人は、少林寺拳法について調べてみてください!!



合唱部

合唱部は中学1年生から高校3年生まで学年問わず、仲良く日々練習に励んでいます。他校の合唱部と合同チームを組んでステージに立つこともあります。昨年度は、本校単独で初めて熊本県大会金賞を獲得し、九州合唱コンクールでは銀賞を頂くことができました。その他にも、ヴォーカルアンサンブルコンテスト、総文祭、合唱祭など、様々な大会に出場しています。「声瞬謳歌」をモットーに、今の私達にできることを歌に注ぎ込んでいます。また、日々のトレーニングでは、風船を膨らませたり、ロープを振り回したり、四肢を踏んだりユニークな取り組みもしています。



女子硬式テニス部

私たち女子硬式テニス部は、6月の県高校総体で団体戦8連覇、個人戦も単複ともにインターハイ進出(シングルス準優勝、ダブルス優勝)という成果を上げることができました。それは団体戦・個人戦ともにチーム一丸となって戦うことができた結果だと思えます。テニスは個人競技ですが、ともに汗を流した部員たちの声援がプレーヤーを大きく後押ししてくれます。紫紺会をはじめとする皆様からのご支援も大きな力となっておりますので、今後とも応援よろしくお願ひいたします。



体操部

昨年の県高校総体では27年ぶりの男女団体アベック優勝を果たし、今年も男女揃って団体優勝を達成することができました。九州高校総体でも男子団体が3位に入賞したほか、国民スポーツ大会(旧国体)の男子代表はすべて本校生が務め、女子代表にも1名を輩出しています。紫紺会をはじめ、ご支援いただいているすべての皆様方へ感謝を申し上げますと共に、ご期待に応えられるよう今後も技を磨いていきますので応援よろしくお願ひいたします。(写真は国スポ県代表メンバー)



百人一首同好会

百人一首同好会は中高合わせて29名で活動しています。入部段階では、ほとんどが初心者ですが、互いに競い合い、高め合いながら、卒業時には有段者となっています。その結果、今年度の県総文では団体3位入賞、さらに4年連続で熊本県代表チーム選手に本校生徒が選出されています。そして、新チームは創部以来、最も力のある選手が高校年代にそろいます。初の県総文団体優勝を目指し、一日一日を誠実に積み重ねていきます。



囲碁部

私たち囲碁部は文武両道をモットーに日々の練習に全力で取り組んでいます。今年の5月に行われた総文祭では県で女子個人優勝(堀口真由美さん)を成し遂げ、岐阜で行われる全国総文祭への切符を掴むことができました。また、6月に行われた選手権では県で女子個人優勝(堀口真由美さん)、女子団体優勝を果たし、東京で行われる選手権の全国大会への切符を掴むことができました。今後とも応援よろしくお願ひいたします。



未来応援基金について

<趣旨>

勉学において必要な機材・資材購入や部活動支援をはじめ、留学を検討している学生など未来へはばたく在校生に対するサポートの一助として、紫紺会会員に広く寄付を募る。

<内容>

会報誌「紫紺」に同封する振込用紙をお使い下さい。寄付金額は一口¥ 5,000 です。活用方法については学校側と協議して決定し、活用結果を会報誌にて報告いたします。在校生に未来を応援する温かいサポートをお待ちしております。

未来応援基金 寄付者一覧

(1期) 奥村拓司、森川崇照、金光正昭 (2期) 井上吉弘、辻幸雄 (3期) 諫山幹生、門岡健一、吉野光正、武藤新、村田誠一 (4期) 上林節郎、大嶺峻、荒木英行、三ツ井武治、岩崎憲一 (5期) 菊池和夫、長野稔、渡辺和文、加久和俊 (6期) 吉本寛治、梨子木和秀、片岡正憲、吉野正孝 (7期) 飯富雅介、中村倫博、小嶋維男、武末博司、中口俊宏 (8期) 中島元比古、妻木邦博、岡山善郎、森川敏郎、佐藤吉信、堺亜流、坂本哲志、木村裕、山本堅 (9期) 濱本正明、宮本和博 (10期) 杉島龍市、吉松淳次、佐藤雅保、山野康也、田中美樹、山本徳光 (11期) 三笠宏、緒方公博、児玉聖也 (12期) 白石博、森下広寿、西村敏治、後藤健吾 (13期) 奥田俊一 (14期) 倉元隆、奥田整史、西村秀夫、鶴梅太郎、榎主祝 (15期) 野田治孝、南明、佐藤武文、山本宣房、米村福美、高陽尚人 (16期) 中西政次、藤木勝幸、木村光男 (17期) 荒木逸治、岡部龍太郎、白石治幸 (18期) 河崎由紀夫、児玉文洋、竹田浩治、伊牟田徹 (19期) 園田敏則、三原大典、内尾公生、森田靖也 (20期) 田上博文 (21期) 吉富昭、富永直子、福島貴志、室原真由美、中山貴夫、阪本朋子 (22期) ハツ波美和子、寺本光秀、白石恵子 (23期) 三浦勲、栗林京子 (24期) 西岡ゆかり、末富仁美 (25期) 竹下精一、中村亮彦、宮村宜明、江藤公俊、西上佳孝、林伸一 (28期) 井上賢二 (29期) 渡邊一広、藤原明子 (31期) 東義智 (32期) 白石智也、大賀盛博 (33期) 奥村誠基、寺田有一郎 (34期) 赤塚智哉 (35期) 上村博美、野村幸代、原田佳英 (37期) 齊藤賢司、中間健太郎、高見智喜 (38期) 中道麻衣子、宮本祐樹 (39期) 北里大祐 (40期) 塩田義法、與田洋史、榎崇文 (41期) 高森亮 (43期) 中野隆志 (45期) 津村伸行 (46期) 加藤丈士 (47期) 田原浩章 (49期) 門池京香 (55期) 前川勝哉 (56期) 中村美諒 (57期) 小林真雪 (58期) 荒木勇斗 (59期) 藤森育太郎 (60期) 高野はな、酒井清士郎、村田和泉 (62期) 梶田あかり

紫紺ズームアップ

～各界で活躍する 同窓生たち!!～

写真で世界の伝えるべき

ストーリーを届けていきたい

フォトジャーナリスト/ドキュメンタリー写真家
龍神 孝介 (38期)



第38期卒業生の龍神孝介と申します。現在はフリーランスのフォトジャーナリスト/ドキュメンタリー写真家としてアジアを中心に世界各地で取材と撮影を行っています。コロナ禍のため近年は満足な活動が出来ていませんでしたが昨年は5か国、今年は3か国を訪問し取材を行いました。具体的な活動の一例として「世界で最も迫害されている民族」と言われているイスラム系少数民族のロヒンギヤを2014年から取材しています。彼らは仏教を主体とするミャンマーで迫害を受け世界各地に逃れています。2017年に発生したミャンマー軍主導による大弾圧は記憶に新しいのではないのでしょうか。数千人から数万人が虐殺され、財産を失い、また多くの女性が性的虐待を受け隣国のバングラデシュに逃れてきました。現在難民キャンプ及びその

周辺に暮らすロヒンギヤの数は100万人にも及びます。彼らが祖国に帰還できる目途はたっておりませんが、特に若者は教育を受けていることが出来ず失われた世代となってしまう恐れがあります。さらに最近ではウクライナやパレスチナの問題に国際社会の注目は移りロヒンギヤへの関心は薄れ支援も先細りしている状態です。彼らが忘れられた存在にならない



ミャンマーからバングラデシュに逃れて来たロヒンギヤ

救援物資に群がるロヒンギヤ



ように現状を少しでも多くの人に伝え続けることが重要だと感じています。

高校時代はバスケットボール部に所属し個性的な友人達と先生方に囲まれ有意義な時間を過ごすことが出来ました。特に2年間担任だった山下大蔵先生には大変お世話になりました。先生の日本史の授業はとても面白くいつも楽しみにしていました。あまり言う事を聞かずに手のかかる生徒だったと思いますが先生は私の学校生活や進路に熱心に真摯に向き合ってくれました。「良き師、良き書、良き友に出会って下さい」卒業式の日に先生が私たちに送ってくれたメッセージは20年以上たった今でも心に残っています。

幼い頃から将来は世界と関わる仕事をしたい、同時代性を感じたいと思っていました。生徒の自由を尊重する学園大学付属高校の校風は私の将来の選択肢の幅を広げてくれました。思い描いていたことが現在の職業となり様々な人との出会いや体験をすることが出来ているのはとても幸せなことです。世界にはまだ沢山の伝えなければいけないストーリーがあり私の写真を通して多くの人たちに届けていきたいです。これからも地道に活動を続けていきたいと思っています。

※撮影場所は全てバングラデシュ南部のミャンマーとの国境付近(2017年撮影)



バングラデシュに逃れて来たロヒンギヤに取材する龍神さん(右)

スポーツを軸にした人生設計を

選択肢の一つに

株式会社 Logro 代表取締役 古庄 健太 (45期)



第45期卒業生の古庄健太です。

学生時代は体操競技のスポーツ推薦で入学したこともあり、学業についていけず部活動と追試に明け暮れる日々でした。私自身体操が好きだったものの全国に通用する程のレベルではなく、大学進学をきっかけに体操の楽しさを普及させる指導者としての道を行くことを決意し、熊本の体操をより発展させるために体操競技場を作りたいという夢を持ちました。まずは体操(体育)を好きになってもらいたいという思いから、大学卒業と同時に「好きこそものの上手なれ」を理念に Do Challenge Club というスポーツクラブを立ち上げました。0からのスタートで決して右肩上がり、順風満帆という事はなく、弟との死別、熊本地震、コロナの蔓延などさまざまな逆境を乗り越えながら、同じ夢を抱き集まったス

タッフと10年の歳月を経て2021年に念願の体操競技場を建設しました。実は Do Challenge Club 設立時の初期メンバーは全員御校の卒業生で後輩です。私の妻も同じ第45期卒業生で、学生時代から交際を経て結婚し、既に20年以上の付き合いです。

それほど学園大付属高等学校は私の人生に大きく影響を与えた大切な場所です。現在では共に働いてくれる仲間も40名を超え、熊本、佐賀、福岡に7店舗+5拠点、会員総数2,300名を超えるクラブに成長しました。そしてクラブを運営する中で、ス



Do Challenge Clubの活動風景

ポーツをきっかけに人生が大きく変わる子ども達を多く見てきました。が、小学校卒業と共に体操も卒業、受験勉強の為に体操はお休み、など節目節目でスポーツを諦めるご家庭があることがとても悔しく、スポーツを軸にした人生設計も一つの選択肢になればと考えるようになりました。これはプロスポーツ選手や指導者になる道だけでなく、スポーツから社会に役立つ知識や技術を学び、好きな事、自信のある事から力を得るという考えです。そこで開校したのが熊本スポーツ高等学校ですが、実技として体操、バレー、ダンス、スケートボード、トランポリン、アクロバット等の種目を学び、加えて本人の選択肢目を指導する力も身に付けます。好きな事を伝える力は、よりスポーツと向き合い知識を深める土台となり、座学ではパソコン、

英会話、撮影、編集技術など穴埋めの勉強は一切無く、社会に出た時の即戦力となります。基礎学問については提携校が提供するプログラムをタブレットで学び、高校卒業資格も取得できる為、選択肢が多様化する現代で、本

学院は「好き」を形にする場所として、「好きを力に変える」を理念に掲げ、スポーツを愛する多くの子ども達にとって、大切な選択肢の一つでありたいと願っています。

事務局室移転復帰のお知らせ

2024年10月から紫紺会事務局を熊本学園大学附属高校内に移転復帰いたします。事務局は21年度より、新型コロナ禍の影響で高校からほど近い熊本市中央区大江2丁目の「スポーツクラブ&スパ ルネサンス熊本学園大通24」の1階に置いていましたが、コロナ収束と高校との連携強化を目的として高校内に移転復帰することになりました。場所は以前事務局を置いていた高校新校舎の1階になります。事務局には原則火・木曜日の13~16時に事務局員が常駐しています。本会における各委員会での事務作業などご利用いただけます。パソコンやコピー機、複合機などを設置していますので、便利にご活用ください。その他、本会活動へのお問い合わせなど御用のある方は当時間帯にご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。メールでのご連絡も承っています。事務局員のスケジュールは変更になる場合がありますので、詳しくは本会のホームページをご覧ください。

藤崎八幡宮秋季例大祭

隊長としての務めが与えてくれたもの

飾馬奉納紫紺会 隊長 塚本龍一（47期）



本年度の飾馬奉納紫紺会の隊長を務めました47期の塚本龍一です。

私は高校時代、水球部に所属しておりました。そして卒業後から現在までの約12年間、母校の水球部の外部コーチとして長年後進の育成に携わっております。8年前から47期の代表幹事を務めることがきっかけで、青年部で同窓会活動に参加させてもらうようになりました。そして6年前に学付の同級生の妻と出会い、結婚。在校時、妻の担任だった一村先生、そして私の担任だった市川先生、水球部顧問の高橋先生に同窓会活動の度に顔を合わせ、何年経っても母校や先生方と触れ合える環境。私は母校に不思議な縁を感じながら日々を過ごしております。

そして、今回仰せつかった飾馬奉納紫紺会の隊長という役目。私は、2年前に初めて飾馬紫紺会で藤崎八幡宮秋季例大祭に参加しました。当時副担当期だった46期の先輩の姿を見て、同級生で誰が隊長を務め、どのような祭りになるのだろうと、少し外目に想像していました。気づけば、諸先輩方から大変よくしていただき、「この先輩方と一緒に祭りがや

りたい、自分が隊長をやりたい」と思い始め、その任を受けるべく、翌年から執行部として携わるようになりました。

まずは、1年を通じて同級生に声掛け、一緒に参加してくれる人探し。熊本在住の同期があまり居ない状況でしたが、年末年始やGW、お盆に帰省したメンバーと祭りの話で盛り上がり、決して多くの人数ではなかったものの、無事に本祭を迎え、集った同級生達とやり逃げられたことが、私の人生のかけがえの無い財産となりました。

何よりも、熊本で生活していく上で祭りを通じて出会った諸先輩方、後輩とこれからもたくさん笑い、相談し、助け合いながら過ごす時間が未来にこれからも待っていること。私は祭りで隊長を務め上げたことで大切な絆を得ることができました。そして、この絆を今度は後輩たちに紡いでいくことが私の次なる使命だと切に感じております。自分以上の素敵な時間が経験できるよう、後輩諸氏を全力でサポートしてまいります。

末筆ながら、このような機会を今に紡ぎ続けてきた多くの諸先輩方に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございます！



令和6年度飾馬奉納紫紺会にご寄付をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

※なお、例年掲載しております寄付一覧は、印刷及び発行日の都合上、次回の会報誌にて掲載させていただきます。ご容赦ください。

年に一度だけ あの頃に戻ってみませんか？

熊本学園大学付属中学・高等学校 同窓会

令和7年度 紫紺会 新春大同窓会

日時：令和7年 1月25日（土）18：00～20：00

会場：ホテル日航熊本5階大宴会場「阿蘇」

熊本市中央区上通町 2-1 TEL 096-211-2211

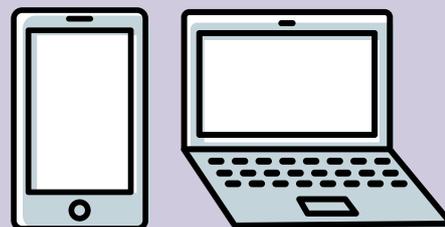
紫紺会からのお願い

紫紺会では近年におけるデジタル化の流れに対応し、会報誌を本会ホームページで閲覧できるようにしています。毎年発行している会報誌は同窓生のご自宅に郵送させていただいておりますが、次号から郵送を希望されない方は以下に①氏名②卒業期③郵送先住所のご連絡をよろしくお願い申し上げます。

連絡先

TEL・FAX 096-371-9333

MAIL shikonkai@outlook.com



令和6年度 収支予算案 2024年4月1日～2025年3月31日

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	前年度決算額	(A)-(B)
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①基本財産運用収入				0
受取利息				0
②受取入会金	3,860,000	4,190,000	4,100,000	△ 330,000
入会金収入	3,860,000	4,190,000	4,100,000	△ 330,000
③受取会費	2,500,000	3,200,000	2,771,000	△ 700,000
年会費収入	1,600,000	2,200,000	1,611,000	△ 600,000
終身会費収入	900,000	1,000,000	1,160,000	△ 100,000
④事業収益	3,800,000	4,700,000	3,357,000	△ 900,000
懇親会費(大同窓会)	2,100,000	2,800,000	1,869,000	△ 700,000
懇親会費(歳祝いの会)	1,600,000	1,600,000	1,408,000	0
現役部活動助成(事業活動委員会)				0
事業収入(事業活動)				0
広告収入	100,000	300,000	80,000	△ 200,000
⑤補助金等収入	0	0	50,241	0
受取寄付金		0		0
補助金等			50,241	0
事業活動収入計	10,160,000	12,090,000	10,278,241	△ 1,930,000
2 事業活動支出				0
①事業費	7,970,000	8,350,000	7,980,641	△ 380,000
広報・情報委員会	3,100,000	3,050,000	3,099,780	50,000
事業活動委員会				0
大同窓会	2,050,000	2,500,000	2,030,003	△ 450,000
歳祝いの会	1,750,000	1,700,000	1,816,110	50,000
青年部委員会	50,000	150,000	49,878	△ 100,000
財務委員会	20,000	50,000	0	△ 30,000
飾り馬奉納支援金	100,000	100,000	100,000	0
紫紺経済同友会	100,000	100,000	100,000	0
クラブ奨励金	100,000	100,000	100,000	0
卒業記念品費	600,000	600,000	584,870	0
総体激励費	100,000		100,000	100,000
②会議費	230,000	370,000	181,340	△ 140,000
総会費	30,000	150,000	0	△ 120,000
役員会費	50,000	120,000	39,500	△ 70,000
代表幹事会費	150,000	100,000	141,840	50,000
③管理費	1,930,000	2,060,000	1,896,389	△ 130,000
事務局費	850,000	1,000,000	886,970	△ 150,000
事務局要員費	400,000	440,000	341,969	△ 40,000
学年同窓会開催支援金	150,000	150,000	133,180	0
会員名簿委託管理料	100,000	110,000		△ 10,000
新聞広告費	90,000	50,000	84,700	40,000
旅費交通費	170,000	100,000	163,700	70,000
慶弔費	20,000	60,000	10,000	△ 40,000
雑費	150,000	150,000	275,870	0
事業活動支出計	10,130,000	10,780,000	10,058,370	△ 650,000
事業活動収支差額	30,000	1,310,000	219,871	△ 1,280,000
II 投資活動収支の部				0
1 投資活動収入	0	0	0	0
投資活動収入計				0
2 投資活動支出				0
特定資産(指定正味財産)の取得				0
奨学金事業引当資産繰入(定期預金)				0
記念事業引当資産繰入(定期預金)				0
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
III 財務活動収支の部				0
1 財務活動収入	0	0	0	0
財務活動収入計				0
2 財務活動支出	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
III 予備費支出				0
予備費				0
当期収支差額	300,000	1,310,000	219,871	△ 1,280,000
前期繰越収支差額	24,586,524	24,366,653	24,366,653	219,871
次期繰越収支差額	24,616,524	25,676,653	24,586,524	△ 1,060,129

紫紺会 令和6年度 事業計画 (2024年4月～2025年3月)

月	日	曜	行 事	場 所	時 間	主 な 内 容 等	担 当
4	10	水	常任理事会	流通情報館	19:00~20:30		事務局
5	8	水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~20:30		事務局
	16	木	決算・会計監査	紫紺会事務局室	16:00~17:00		財務委員会
6	1	土	通常総会	ホテル日航熊本	18:00~18:30		事務局
			紫紺年祝いの会		18:30~21:00		事業活動委員会
12	水	常任理事会	パレオ会議室	19:00~21:00		事務局	
7	12	水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00		経済同友会委員会
	20	土	紫紺経済同友会総会 年祝いの会・奨励賞授与式	松屋本館	18:00~19:00 19:00~21:00		事務局
8	8	水	常任理事会	パレオ会議室	19:00~21:00		事務局
9	11	水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00		事務局
	1	日	飾り馬 慰問				飾り馬奉納実行委員会
	14	土	飾り卸	藤崎八幡宮			飾り馬奉納実行委員会
	16	日	藤崎宮秋季例大祭	藤崎八幡宮			飾り馬奉納実行委員会
10	9	水	常任理事会		19:00~21:00		事務局
11	8	水	100%代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00	大同窓会について	事務局
12	11	水	常任理事会		19:00~21:00		事務局
1	3	水	20歳の同窓会	ホテルキャッスル		成人式を迎える期の同窓会を支援する	青年部
	8	水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00	大同窓会について	代表幹事会
2	25	土	新春大同窓会		19:00~21:00	年頭のご挨拶・奨励賞授与	事業活動委員会
			東京紫紺会総会・交流会				東京紫紺会
12	水	常任理事会			19:00~21:00		事務局
3	2		紫紺会入会式	高校にて		新卒業生の入会式	事務局・広報委員会
	3		学園大学付属高等学校卒業式				会長

会費納入のお願い

同窓会活動は長きにわたり活発に展開されています。これも同窓生の皆様によるご協力のたまものと感謝申し上げます。活動には、最低限の資金を必要とし、皆様の会費によって支えられている事をご留意いただき、どうか早めの会費納入をお願いいたします。

- 会 費 3,000円
- 納 期 早目の納入をお願いします。
- 納入方法 同封の振込用紙にて、郵便局または振込用紙裏に記入してあるコンビニエンスストアでご送金いただくか、下記口座に直接お振込下さい。

【お振込先】

銀行振込の口座番号は下記の通りです。なお、銀行口座引き落としをご利用の方は新たに振込みの必要はありません。

- ・肥後銀行 県庁支店 普通口座 口座番号 1303908
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本銀行 水前寺支店 普通口座 口座番号 0259310
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本第一信用金庫 本店営業部 普通口座 口座番号 946549
熊本学園大学付属高等学校同窓会紫紺会

終身会費について

今回の対象は1期～16期になります。会報誌に同封されている会費振込用紙で「終身会費」を選択し、郵便局またはコンビニにてお振り込み頂ければ完了です。翌年からは会費振込用紙は同封されません。

(終身会費 ¥10,000)

本年も会報誌の発行に際し、ご協力をいただいた学校や同窓生をはじめとする関係者の方々に厚く御礼申し上げます。第34号となった本号も同窓会の活動報告をはじめ、各業界で活躍されている同窓生紹介や中高の活動報告などさまざまな内容を収録し、無事発刊に至りました。

広報・情報委員会では6月から若手の新メンバーを加え、現在6人で活動しています。会報誌の発行以外にも同窓会行事の取材や撮影、さらに近年ではホームページやフェイスブックの更新、運営など時代の流れに応じたウェブ展開に注力しております。インスタグラムも復活しましたので、ぜひご覧ください。今後も誌面やウェブを通じて、同窓生の方々に「紫紺会に参加してみたい!」と願っていただけるような魅力あるコンテンツづくりに努めて参ります。引き続き、皆さま方のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。